

まちの「今」をお届けします



市内在住のガラス造形作家 西川 慎さん

県芸術文化振興奨励賞を受賞

きららガラス未来館で講師を務めるガラス造形作家の西川慎さんが、県芸術文化振興奨励賞を受賞しました。この賞は、昭和25年度に創設され、芸術文化の分野で高い水準の創作活動を続け、将来性のある人に贈られるものです。ガラス工芸部門では、初めての受賞となりました。

西川さんは神奈川県出身の45歳。平成13年(2001年)に開催された「第1回現代ガラス展 in おのだ」の大賞受賞者です。平成15年(2003年)、本市に移住。現代ガラスアートの全国的な賞を数多く受賞され、中国の著名なホテルに作品が採用されるなど、世界的に活躍されています。昨年12月に長門市で開催された日露首脳会談では、西川さん制作のシャンパングラスが使用されました。また、現代ガラス展の運営や子どもたちの

ワークショップ、オートレースの優勝記念トロフィーの制作など、本市のガラス文化の振興に尽力されています。

5月24日、市役所を訪れた西川さんは、藤田市長に受賞を報告。「山陽小野田市に来て思うことは、本当に良い出会いに恵まれ、人との出会いから作品が生まれ、制作活動が続けられています。これからも市内外にガラス文化を広めていきたい。」と、ガラス文化の振興について熱く語りました。藤田市長は「人と人とのつながりを大切に、地域の特性を生かすまちづくりをまさに実践してもらっている。今後の活躍にも期待しています。」と西川さんに激励の言葉をかけていました。

第1回現代ガラス展
大賞作品「月齢」
(きららガラス未来館展示) ▶

